

Aprile

秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

No. 50
2016



特集 秋田大学 大学院

～2016年4月 新体制へ～

秋田大学は、国際資源学研究科の新設および教育学研究科(「教職大学院」の新設)と工学資源学研究科を理工学研究科に再編する改組により、現行の3研究科体制から4研究科体制へと変えて新たなスタートを切ります。



大学院の新設・改組

教育学研究科	修士課程 (44名)	学校教育専攻 (13名)
		教科教育専攻 (31名)
工学資源学研究科	博士前期課程 (167名)	地球資源学専攻 (17名)
		環境応用化学専攻 (20名)
		生命科学専攻 (12名)
		材料工学専攻 (23名)
		情報工学専攻 (16名)
		機械工学専攻 (26名)
		電気電子工学専攻 (30名)
		土木環境工学専攻 (11名)
		共同ライフサイクルデザイン工学専攻 (12名)
		資源学専攻 (4名)
工学資源学研究科	博士後期課程 (16名)	生命科学専攻 (3名)
		機能物質工学専攻 (3名)
		生産・建設工学専攻 (3名)
		電気電子情報システム工学専攻 (3名)
医学系研究科	修士課程 (5名)	医科学専攻 (5名)
	博士前期課程 (12名)	保健学専攻 (12名)
	博士後期課程 (3名)	保健学専攻 (3名)
	博士課程 (30名)	医学専攻 (30名)

再編 教育学研究科	専門職学位課程 (20名)	教職実践専攻 (20名)
	修士課程 (6名)	心理教育実践専攻 (6名)
新設 国際資源学研究科	博士前期課程 (40名)	資源地球科学専攻 (17名)
	博士後期課程 (10名)	資源開発環境学専攻 (23名)
再編 理工学研究科	博士前期課程 (150名)	生命科学専攻 (15名)
	博士後期課程 (10名)	物質科学専攻 (42名)
再編 医学系研究科	修士課程 (5名)	医科学専攻 (5名)
	博士前期課程 (12名)	保健学専攻 (12名)
	博士後期課程 (3名)	保健学専攻 (3名)
	博士課程 (30名)	医学専攻 (30名)

※上記の()内は募集人員です。

国際資源学研究科は、資源循環型社会の実現のための資源地球科学分野および資源開発環境学分野に関する高度な知識と専門性に裏付けられた最先端の教育・研究を進め、地球科学から資源開発、環境保全に至る広範な知識を修得し、グローバルリーダーとして活躍できる人材の養成を目的としています。具体的には、地球規模の課題となった資源問題の解決を目指す、創造性豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、将来の資源エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成します。

また、第一線の研究能力を有し、その研究成果を資源地

① 持続的社会的実現のため資源・エネルギー・環境問題に対する強い探求心を持ち、より高度な専門知識を身につけ、国際的な資源開発に意欲的に取り組むことを目指す人

② 国際的な倫理的思考力と判断力、実践力、創造性をもち、最先端の知識を習得した資源技術者、研究者として活躍したい人

博士課程リーディングプログラム

レアメタル等資源ニューフロンティア養成プログラムとして、国際資源学研究科に博士課程5年一貫教育プログラムを設置し、21世紀の国際資源開発に関わる諸課題に俯瞰力をもって挑める人材「資源ニューフロンティアリーダー」の育成を目指します。

③ 社会人学生や留学生にとっても学びやすい環境、制度を活用し、豊かな経験や多彩な価値観を修得したグローバル社会での活躍を目指す人



グローバルリーダーとして活躍できる人材の養成

新設 国際資源学研究科

再編

教育学研究科

高度な力量を有する初等中等
教員と、地域の発展に貢献する
高度専門職業人の養成

教育学研究科は、教育に関わる理論と実践の往還を通じて、学校現場から課題を抽出し、多様な人々と連携協働しながら、組織的に課題を解決するとともに、地域に蓄積された実践知の継承と創造に取り組み意欲と力量を有する、高度な教育専門職としての初等中等教育教員の養成と、その教員や学校を支援し、地域の発展に貢献できる高度専門職業人の養成を目的としています。

アドミッション・ポリシー

『教職大学院』（専門職学位課程）

- ① 現職教員院生は、研究主任、教務主任、主幹教諭などカリキュラム・授業開発、発達教育・特別支援教育の中核として働くスクールリーダーや指導主事になり得る人と、教頭、副校長、校長、教育委員会幹部など学校改革や学校マネジメントの中核となり得る人
- ② 学部卒院生は、学校現場において即戦力となる実践的な指導力を身につけ、授業開発と指導・支援の中核となり得る人

■秋田大学教職大学院を構成する「3つのコース」

学校マネジメントコース	学校経営や改革を推進するため、組織マネジメント力に優れたスクールリーダーを養成します。	現職教員対象
カリキュラム・授業開発コース	高度な授業力やカリキュラム開発力、教科指導力を備え、校内外の授業研究をリードできる教員を養成します。	学部卒業生、現職教員対象
発達教育・特別支援教育コース	学級経営、教育相談、特別支援教育等を担う高度な専門性を有する教員を養成します。	学部卒業生、現職教員対象

■秋田大学教職大学院で育成する「3つの力」

学校マネジメント・協働力

学校を適切にマネジメントし、同僚と協働することにより、学校が抱える課題を発見し、その解決に向けた取り組みを実行できる能力

カリキュラム・授業デザイン力

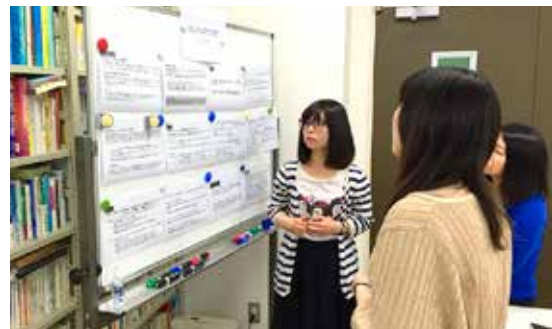
各教科にとどまらず、外国語活動、総合的な学習の時間を含めて総合的、実践的にカリキュラムを開発し、授業をデザインする能力

成長発達サポート力

発達障害など、種々の障害及び発達上の課題に対応する学級経営、生徒指導、教育・発達相談に関わる能力

教職チャレンジ制度

教職大学院での研究・学修を続けながら、教育文化学部の授業を履修することにより、教員免許状（原則1校種）の取得を可能とする制度があります（学部の授業料は無料で1種免許状の取得が可能です。大学院で所定の単位を修得することにより、専修免許状の取得も可能です）。



理工学の専門性に基礎を置き新しいモノづくり・コトづくりを目指す人、様々な課題を抱える地域社会の発展に貢献したい人、そして学問を通して人類の諸課題の解決に寄与することを目指している人を入学者として求めています。社会人に対しては働きながら学ぶことも可能とする柔軟な取り組みを、そして世界各国の留学生を受け入れるグローバルな環境をそれぞれ整備し、異なる背景と目標を持つ学生を積極的に受け入れます。

アドミッション・ポリシー

理工学研究科は、これからの国際社会や地域産業を担う高度な専門的技術者・研究者、国際的な視野をもって地域の産業を自ら生み出す挑戦者、地域に根ざしたグローバル人材、これからの人材を養成するとともに、地域企業・地方行政との連携により喫緊の課題である「地方創生」を推進します。また、これからの国際社会でのイノベーションを担う人材を養成し、リージョナルセンタリーとしての機能強化を推進することを目的としています。

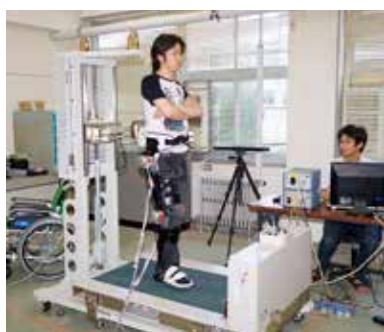
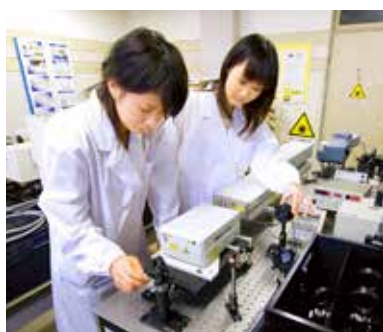
再編

理工学研究科

「理」の強化による地方創生、
国際社会でのイノベーション
実現のための人材養成

医理工連携コース

秋田県の医療福祉産業の発展を担う人材教育を目的とした教育プログラム。履修対象は秋田大学大学院の医学系研究科(医科学専攻)または理工学研究科博士前期課程(共同ライフサイクルデザイン工学専攻を除く)に入学している者。この教育プログラムでは、秋田大学医学部・医学部附属病院との共同で研究を進める必要があり、これが各研究科の修士論文にもなります。修了者には修了証を発行します。



NEWS&TOPICS

ニュース&トピックス
2015.09. >>>2015.11.

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(略称 COCプラス事業)
「テーマ…超高齢・人口減少社会における若者の地元定着の促進と若者の育成」

秋田大学は、平成27年度文部科学省の新規重点補助事業である「地(知)の拠点大学」による地方創生推進事業に採択され取り組みを進めております。この事業は、地域の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としており、若者が進学や就職のため首都圏に移り住むという「東京一極集中」や18歳人口が減少に転じる「2018年問題」は、秋田県のような人口減少・高齢化が進行している地方にとっては死活問題とも言えます。こうした問題に対応するため、高等教育機関としての秋田大学、秋田県立大学及び秋田工業高等専門学校が、秋田県、県内企業、秋田商工会議所等の民間団体、秋田銀行、北都銀行と協働で概念図に記載している3本の柱として位置付けている事業に取り組む、平成27年度から5年間で学生の地元就職率10%アップと、より多くの地元高校生が秋田大学への進学等を目指してまいります。第1の柱では、県内6大学共通単位交換の「秋田おらほ学」コース

秋田大学は、平成27年度文部科学省の新規重点補助事業である「地(知)の拠点大学」による地方創生推進事業に採択され取り組みを進めております。この事業は、地域の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としており、若者が進学や就職のため首都圏に移り住むという「東京一極集中」や18歳人口が減少に転じる「2018年問題」は、秋田県のような人口減少・高齢化が進行している地方にとっては死活問題とも言えます。こうした問題に対応するため、高等教育機関としての秋田大学、秋田県立大学及び秋田工業高等専門学校が、秋田県、県内企業、秋田商工会議所等の民間団体、秋田銀行、北都銀行と協働で概念図に記載している3本の柱として位置付けている事業に取り組む、平成27年度から5年間で学生の地元就職率10%アップと、より多くの地元高校生が秋田大学への進学等を目指してまいります。第1の柱では、県内6大学共通単位交換の「秋田おらほ学」コース

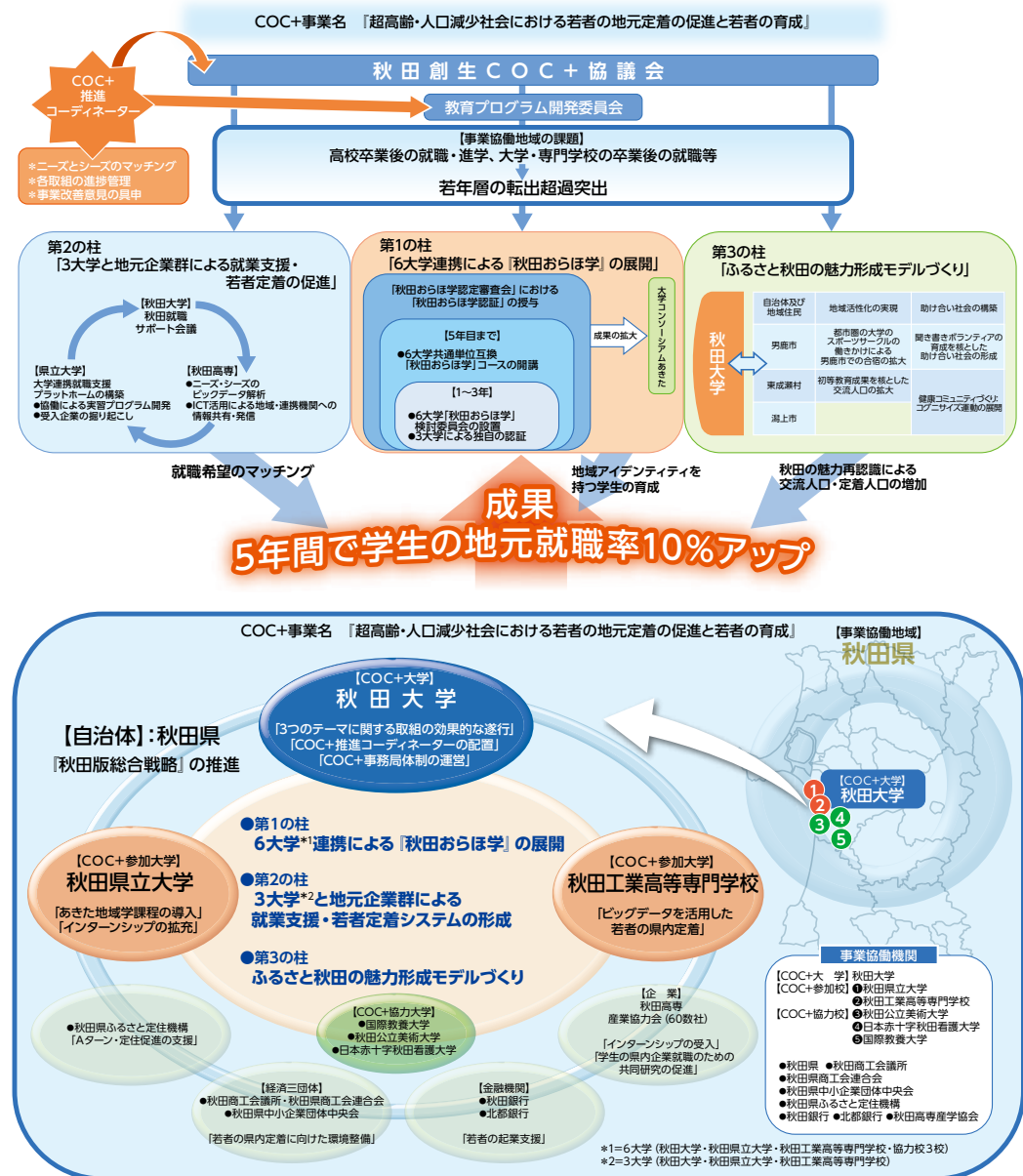
SEPTEMBER
「県民の健康を守る」医療フォーラム

9月29日、秋田市のさきがけホールを会場に今回で4回目となる秋田大学医療フォーラムを開催しました。今回のフォーラムは、専門医などとの対談を通して肺がんや食道がんについての理解を深め、がんの予防と早期発見の重要性を学ぶことを目的に開催。一般市民や看護師ら約260人が参加しました。

澤田賢一学長の開会挨拶の後、大学院医学系研究科胸部外科学講座の南谷佳弘教授が「肺がんのことをもっとよく知ろう」と題して講演。また、大学院医学系研究科医学専攻地域がん包括医療講座の本山悟特任教授が「食道がん、どう予防する?どう治す?」と題して、それぞれのがんの特徴や早期発見、早期治療の重要性について講演を行いました。さらに、堀井啓一秋田県副知事が、秋田県のがん対策について講演し、県を挙げての取り組みについて紹介しました。

その後、特別対談として、大学院医学系研究科胸部外科学講座の中麻衣子医師と寺田かおり医師が秋田県出身のタレント・壇蜜さんを交え、肺がん・食道がんの予防と早期発見について意見交換を行いました。

壇蜜さんは、当日の午前中に医学部附属病院シミュレーション教育センターを見学。また、前日の9月28日には一日病院長として病棟及び外来を訪問し、患者さんたちとの交流などを行いました。



間証証制度を取り入れます。第2の柱では、県立大学と秋田工業高等専門学校とが主体となり就業支援・若者定着の促進に向けたインターンシップ制度の仕組みを構築します。第3の柱では、男鹿市、潟上市、東成瀬村をモデル拠点に交流人口の拡大聞き書きボランティアの育成、認知症予防／コグニティブ運動を取り入れています。秋田を愛し、秋田のために頑張ろうという学生が一人でも多く増えるよう、目標達成に向け関係の皆様とともに取り組んでまいります。



OCTOBER

平成27年度大学改革シンポジウム・地域交流朝市

10月10日、秋田大学と連携協定を締結している7自治体の協力のもと、手形キャンパスで平成27年度大学改革シンポジウム・地域交流朝市を通じた地域活性化の現在(いま)と未来を探索し、秋田の伝統文化から生まれた商品を中心として「」を開催しました。このシンポジウムは一般社団法人国立大学協会が募集する事業であり、秋田大学は5度目の採択となりました。

この取り組みは、平成26年の秋・平成27年の春の開催に続いて3回目の開催となる「秋田大学地域交流朝市」を通じて地域住民・学生の交流促進、連携自治体の特産品の販路拡大をメインとして、郷土の伝統民俗芸能や学生のサークル活動の披露、さらに横手・北秋田・男鹿の3分校の活動紹介を織り交ぜることにより、地域連携のあり方やさまざまな文化を体験してもらう機会の創出及び、大学に期待することや要望を市井から広く聴く

機会とすることを目指して実施し、300名以上が来場しました。また、学生が事前に生産地を訪問して、特産品の製造方法やこだわり、「売り(セールスポイント)」などについて学んだ上で当日の販売に携わることで、地域を創生する人材育成の場にもなりました。

当日は販売前から行列ができ、閉店時刻を迎えることなく売り切れる商品も数多くあり、地域住民からは「とても良かった」「継続して欲しい」などの声がありました。

地域交流朝市は、様々な工夫を凝らして更なる賑わいの創出を図りながら、来年度も春と秋の開催を予定しています。



行列ができ、賑わいをみせる地域交流朝市



指定無形民俗文化財「比内獅子踊」



笑顔で商品の説明をする学生

第1回秋田大学ホームカミングデー

10月17日、秋田大学の卒業生を対象に、第1回秋田大学ホームカミングデーを開催しました。

大学への帰属意識を高めることを目的とした卒業生向けのサービスとして、全学同窓会及び各学部同窓会の協力のもと実施。これまで学部単位での実施はありましたが、全学として初めての開催となりました。

全体会・記念講演会では、はじめに同窓会を代表し、全学同窓会兼医学部医学科同窓会「本道」の松岡一志会長が挨拶。続いて、澤田賢一学長が講演し、秋田大学の現状や今後の展望などについて話しました。



秋田大学の現状や今後の展望などについて講演する澤田学長



同窓会を代表し挨拶する秋田大学全学同窓会兼医学部医学科同窓会「本道」の松岡会長



第1回秋大祭特別オーケストラ音楽会の様子



キャンパスツアーで教員による指導の下、実際にシミュレーターを操作する参加者

このイベントは第49回秋田大学祭の開催に併せて行われ、第1回秋大祭特別オーケストラ音楽会の観覧、手形・本道キャンパスを巡るキャンパスツアーや交流会も行いました。交流会には澤田学長をはじめ役員・教職員も参加し、参加者との歓談、情報交換を行いました。

NOVEMBER

読売巨人軍前監督原辰徳氏が医学部附属病院を慰問



澤田学長と原巨人軍前監督



原巨人軍前監督へお礼を伝える患者さん

11月9日、プロ野球読売巨人軍前監督の原辰徳氏が医学部附属病院小児科病棟を慰問に訪れ、入院している子どもたちに声をかけて激励しました。

歓迎横断幕に彩られた医学部附属病院の小児科病棟ホールには、原前監督を心待ちにしている入院患者さんやその家族等約70名が集まり、大きな歓声と拍手で原前監督を迎えました。

歓迎セレモニーで花束を受け取った原前監督は、子どもたちを前に「両親や病院スタッフとともに『病気と闘う』という気持ちを持ち、早く元気になってほしい」と挨拶。また、「体を鍛えようと巨人軍に入れるかもしれないぞ」などと声をかけ、写真と一緒に撮るなどして交流しました。

その後、澤田学長、羽瀧病院長とともに病室を一部



気軽にサインをする原巨人軍前監督

特集

秋田大学広報誌
アプリーレ

祝
50号

国立大学法人秋田大学の発足
～号外を発行～

2004年4月、国立大学法人秋田大学が発足しました。これに合わせて、号外を発行。学長メッセージをはじめ、沿革や基本理念・目標、運営組織について掲載するとともに読者から頂いた法人化に関する質問に答え、法人化への理解を深められるようにしました。



2004年

秋田大学広報誌「アプリーレ」創刊

2000年1月、秋田大学初の広報誌「アプリーレ」を創刊しました。積極的に秋田大学の窓を開放することを意識し、イタリア語で「開く」「開ける」という意味のある「APRIRE (アプリーレ)」というタイトルを採用。また、APRIREはAKITAと同じく、「A」から始まることも選ばれた理由の一つです。
表紙のデザインは、3学部のイニシャル(教育文化学部のE、医学部のM、工学資源学部のE)と秋田大学のAをイメージしたもので、各号季節に応じたデザインを心がけました。



2000年

留学生200人突破

2012年10月、秋田大学で学ぶ留学生が211人(26の国と地域)となり、200人を突破しました。また同月、初の海外拠点となる「秋田大学モンゴル事務所」を同国の科学技術大学内に設置しました。



2012年

地(知)の拠点整備事業 採択

「地(知)の拠点整備事業(Center of Community=COC事業)」とは、2013年度の文部科学省の新規重点補助事業で、自治体等と連携し全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指すことを目的としています。全国319件(342校)の大学等が申請し、秋田大学は52件(56校)の採択校の一つとして選定されました。



2013年

国際資源学部新設、4学部で始動

2014年4月、秋田大学は従来の教育文化学部・医学部・工学資源学部の3学部のうち、教育文化学部と工学資源学部を再編、「国際資源学部」を新設し、国際資源学部・教育文化学部・医学部・理工学部の4学部として新たに生まれ変わりました。4学部体制となって初の新入生を迎え、活気づくキャンパス。各学部長と新入生の皆さんの「所信表明」を掲載しました。



澤田賢一学長就任

2014年4月、澤田賢一第12代学長が誕生しました。学長就任を記念して、AUP秋田大学報道局の学生が学長室を訪れ、インタビューを行いました。学長の仕事や自身の学生生活、秋大生に期待することなどを取材。澤田学長の笑顔を多く引き出し、大成功を収めました。
Aprire No.44(P4)→



2014年

澤田学長と学生の懇談会

2014年11月、話しやすい雰囲気の中で懇談し、そこで得られた学生の声を今後の大学運営に取り入れることを目的に開催。懇談では、澤田学長が学生の似顔絵を作成し、記念にプレゼントしています。現在も定期的に懇談会を行っており、その様子は秋田大学公式ホームページで公表しています。



Aprire No.47(P4) 1

病院再開発整備事業完了

2015年3月、2006年に着工した秋田大学医学部附属病院の再開発整備事業が完了しました。再開発のコンセプトは「患者さんへの優しさ」と「病院機能の強化」です。6月には完了記念式典を挙げる。来賓、学内外関係者と合わせて約100名が出席しました。



2015年

澤田ビジョン発表

2014年11月、世界と地域を視野に入れ、独創的な挑戦を目指す「澤田ビジョン」を発表しました。



全面リニューアル

2010年、秋田大学広報誌アプリーレを全面リニューアルしました。A4サイズの冊子版からタブロイド版へ。いくら中身が面白くても「手に取ってもらわなければ意味がない」というねらいのもと、大学の広報誌らしからぬデザインに一新。表紙のモデルには秋田大学生を起用し、プロのカメラマンによる撮影を行っています。



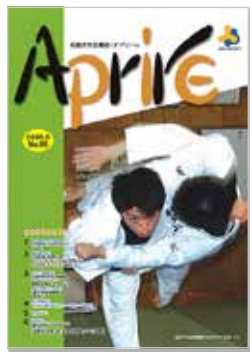
秋田大学創立60周年

2009年5月、秋田大学は創立60周年を迎えました。11月には記念式典を挙行し、学内外の多くの関係者が出席し、節目の年を祝いました。



デザイン刷新

2006年6月、アプリーレのデザインを刷新しました。表紙には主に秋田大学の部活動やサークルの活動風景写真を掲載。アプリーレの標記も“APRIRE”から“Aprire”と変更し、表紙の色についても写真に合わせて毎号変えています。



医学部創立40周年

2010年、秋田大学医学部は創立40周年を迎えました。医学部は戦後初めて設置された国立大学医学部として、1970年4月1日に創立。2010年11月には記念式典を挙行し、40年の節目を祝うとともに、更なる発展を誓い合いました。



2009年

2006年

2010年

工学資源学部創立100周年

2011年、秋田大学工学資源学部は創立100周年を迎えました。工学資源学部の前身である「秋田鉱山専門学校」が1910年3月に設置され、翌1911年5月から授業開始。1949年、鉱山学部として秋田大学に包括され、1998年に工学資源学部へ、2014年には現在の理工学部へ改組しました。2011年10月には記念式典を挙行し、100年の節目を祝うとともに、更なる発展を誓い合いました。



2011年

文部科学省特別経費「まなびの総合エリア」プロジェクト

2010年～2012年度の3年間にわたる文部科学省特別経費プロジェクト「まなびの総合エリア」が、折り返し地点を通過。これまでの主な事業実績と今後の方向性について掲載しました。



発行50号を迎えて

学長 澤田 賢一
SAWADA Kenichi



アプリーレの発刊50号を迎えて、発刊と継続に携わってきたすべての皆様に感謝申し上げます。ともに心からお祝いをいたします。アプリーレは、秋田大学に集う学生と教職員の記憶を留めてきました。教育や研究、学びやその支援業務は勿論、その時々トピックや教員紹介、卒業生の活躍や課外活動など、部局の壁を越えた情報を共有するツールとしての重要な役割を果たしています。そうそう、私が描いた学生さんの似顔絵も載せてくれました。アプリーレが多くの構成員の絆となつて50号の歴史を刻んで来たことを大変嬉しく思います。

ベースとなる秋田大学の歩み。それは、「伝習学校」を起点とすれば今年で144年目になります。明治6年（1873年）教員養成を目的とした「伝習学校」に始まり、「洋学校」を合併した「太平学校」（1874年）を経て、1878年に「秋田師範学校」誕生へとつながります。一方で、1910年には「秋田鉱山専門学校」が創設され、国立学校設置法により1949年に「秋田師範学校」、「秋田青年師範学校」及び「秋田鉱山専門学校」を母体として、学芸学部、鉱山学部からなる秋田大学として発足しました。1970年には医学部を加えて3学部。2014年度には国際資源学部を新設し、再編した教育文化学部、理工学部と医学部からなる新しい一歩を踏み出しました。

秋田大学は、これまでの長い歴史を踏まえつつ、教育・研究を究めるとともに、地域の発展にますます貢献して参ります。国際資源学部には、国内唯一の資源学部として資源の安定供給に向けて国運を担うとともに大学全体のグローバル化の牽引役を期待しています。教育文化学部では、何と言っても初等中等教育の全国トップクラスの学力を支えているという成果が、我々の誇りでもあり県民の誇りでもあります。新たな道を探る地域文化学科とともに、本学唯一の文化系学部として、地域文化の牽引をお願いいたします。理工学部は、ものづくり・創業、イノベーションを通して、少子高齢化と人口減少に悩む本県に雇用を生み出す必須の役割を担っています。また、医学部には、超高齢社会も念頭に置いた高度医療と地域医療の充実や、在宅ケア、看護、福祉における先端的役割、そして理工学部と共同した「医理工連携」の推進を期待しています。教育・研究と地域創生。地域の基幹的国立大学として、地に足を付けてそれぞれの分野を着実に発展させて参ります。

我々の歩みは発行を重ねるアプリーレを通じて多くの人たちに発信され、共有されることでしよう。秋田大学を中心とした輪が、未来に向けてさらに広がっていくことを願っております。

教員紹介

国際資源学部 学部長

佐藤 時幸
SATO Tokiyuki

国際資源学部は、明治期に「秋田鉱山専門学校」として創設され、鉱山学部、工学資源学部と資源学に関する長い伝統と実績を引き継ぎ、平成26年4月に全国オンリーワンの学部として新たに誕生しました。

日本で唯一「資源」を
トータルで学ぶ学部として

「秋田大学国際資源学部は、資源の探査・開発・政策を一貫して学ぶことができる、我が国唯一の学部です。資源形成メカニズムなどの地球の仕組みや歴史を学ぶ『資源地球科学コース』、資源開発と環境保全などを学ぶ『資源開発環境コース』に加え、経済や法律などの文系分野からアプローチする『資源政策コース』があります。世界的に見ても理工系の分野と文系の分野が融合した学部というのは珍しく、これも本学部の特色の一つです。例えば資源系の企業が海

外に進出する時には、技術者だけではなく国際法や国際情勢が分かる専門家でチームを組んで行います。資源学では理系・文系の枠を超えた幅広い知識が必要とされ、総合的に学ぶことが必要なのです。また、2年次から始まる専門教育の授業は全て英語で行われます。入学時に英語が不得意でも心配ありません。語学力というよりはコミュニケーション、伝えようとする力が大切で、最初から高い英語力が必要とされるのではなく、自然と英語力が身につく環境にあるといえます。来年度からはいよいよ3年次の海外資源フィールドワークが始まります。昨今の国際情勢を踏まえ、学生の皆さんが安全に学べる環境づくりは万全です。海外の資源の最前線で何が起きているのか、何が問題なのかを具体的に調査し、目的意識を持って学ぶことを期待しています」。

世界の国々と
手を取り合いながら

「資源そのものを考える上では、国内だけではなく海外ネットワークが重要です。昨年はインドネシアのジャカルタでトリサクティ大、学インドネシア国営石油との共同研究室を立ち上げました。現地に拠点を置く

ことで現地で採取した試料の処理をすることができ、連携の機関も日本の最先端科学を学ぶことができ、双方にメリットのある関係を築くことができます。今後東アジアをベースにした環太平洋地域と南部アフリカを拠点としたネットワークの強化を図ります。同時に、資源学の最先端技術をもつ海外の大学との連携をさらに強めたいと考えています。世界の国々と手を取り合いながら技術者を養成することが必要です」。

地球という大きな
ストーリーを読み解く
「微化石」の研究

「専門は『微化石と呼ばれるプランクトンの化石と石油地質』です。大西洋カリブ海北極海の水深1000メートル以深の海底から岩石のサンプルを取り、1センチごとに含まれる微化石を分析します。そして地球という大きなストーリーの中

で、一億年前から現在まで地球の環境がどのように変化してきたのか、生物の生産性がどう変わってきたのかを研究しています。それを研究し復元することで、石油地質に応用させることができます」。

忙しい日々の中で、
あえて趣味を楽しむ

「ここ数年、忙しくなり始めてから意識的に趣味の時間を設けるようになりました」とほほ笑む佐藤学部長。趣味のつは「星の写真を撮ること」だそうです。現在は入手困難でマニアには垂涎の望遠鏡二台と、ご自宅のお庭で撮った「オリオン座大星雲」の美しい写真を見せていただきました。もう一つの趣味は「プラモデル作り」。見せていただいた写真にはJALとANAの飛行機のプラモデルがずらり。組み立てからセメントの穴埋め、色塗りまで、集中して取り組まれたそうです。こうした手暇暇のかかる趣味の時間こそが、忙しい日々の活力の源となっているようです。

受験生・在学生への
メッセージ

「資源の問題は日本だけではなく、人類全体にとって非常に重要な課題となっています。現在、日本で『資源学』を学べるのは、秋田大学だけです。古くから地下資源の宝庫であった秋田は、現在でも男鹿半島にいれば2000万年前から現在までの地層を見ることができ『資源とは何か』を学べます。秋田をベースに『地球』そして『資源』を見つめ、共に学んでいきましょう」。

地球規模で「資源」を学ぶ、
全国オンリーワンの学部

JR東日本グループ

30th Anniversary
しあわせ
はじまる
ホテル。

秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなどあらゆるリクエストにお応えいたします。

ホテルメトロポリタン秋田

秋田市中通七丁目2-1 TEL.018-831-2222
http://www.metro-akita.jp/

教員紹介

教育文化学部 学部長

武田 篤
TAKEDA Atsushi



「秋田型モデル」を 受け継ぐために

「全国トップレベルを誇る秋田県の小中学生の学力。その学力を支えているのが、秋田大学教育文化学部を卒業した現場の先生たちです。現在、秋田県が抱える大きな課題は、定年を迎えた教員の退職者が急増することと、それに伴い若手の教員を指導する教員がいなくなってしまうということ。一般に『秋田型モデル』と言われる優れた授業のスタイル、実践知を、いかに伝えていくかが重要な課題となります。その一つとして、教職大学院の設置が挙げられます。学部卒業生だけ

教育文化学部は、主に教員を養成する「学校教育課程」と地域協働の核となる人材を養成する「地域文化学科」の二つがあります。

ではなく現職教員も受け入れて、より実践性の高い内容の授業を多く取り込み、新たなスキルリーダーを養成します。現場で経験を積んだ教員も、大学院で若手に教えることを通じて学び、それを通じて学校現場でより優れた指導をすることが可能となります。少子高齢化が進む秋田県ですが、最も大事なことは『人を育てる』ことであり、秋田は『人こそが財産』だと思っています。これからは、大学が果たすべき役割も変化していく時代です。かつてのように、『学生の教員養成』に留まらず、教育委員会と協力し合い、現職の先生たちのキャリアアップを図るための研修施設としての役割も担うことになるでしょう。学生のみならず、秋田県の教員全体の力量をアップし、これからは『教育県秋田』として高水準の学力を維持していきたいと考えます」。

教員も学生も 「共に教え学び合う」



**地域文化学科
地域を愛し、
地域を発展させる**

「地域文化学科は、地域を愛し地域のために貢献できる若者を育てる学科です。特色の一つとして、学内共同教育研究施設である『地域創生センター』と連

携し、地域の現場へフィールドワークに出かける機会を多く設けていることが挙げられます。代表的なものとしては、3年次からの『地域連携プロジェクトゼミ』です。インターンシップとは異なり、学生と企業が一緒になつて一つのプロジェクトに取り組みます。大学の教員も関与しながら地域の中、小企業と連携すること、どういった企業が、どのようになっているのかを知り、より実践的な学びが可能となります。『地域連携プロジェクトゼミ』は実際には平成28年度からの実施となります。目的意識を持って取り組み、それぞれが課題を見つけて発展させていくことを大いに期待しています」。

発達障害・聴覚障害児への 支援

「専門は『特別支援教育』『言語病理学』です。障害

のある子どもたち、特に補聴器や人工内耳をつけた聴覚障害のある子どもたち、いかにして言語を獲得させるかということが研究の中心です。近年は、知的に問題がなく普通に話ができるけれども読み書きができない『発達性読み書き障害』についても取り組んでいます」。

日曜大工に没頭し、 リフレッシュをはかる

日曜大工が趣味という武田学部長。一番のお気に入り、娘さんのために作った「テーブルと椅子」だそうです。引き出しもついた大作で、お正月休みの期間、夜中もずっとかきりきりで仕上げたとのこと。没頭している間は仕事を忘れ、仕上がった時には大きな達成感を感じられたそうです。

受験生・在学生への メッセージ

「教育文化学部は、バラエティーに富んだ専門を持つ教員をはじめ、様々な人と出会えるチャンスに恵まれた場所です。今、もっとも必要とされているのはコミュニケーション能力です。コミュニケーション能力とは、単に語学力などを指すのではなく、年齢や立場の違う人々との関係をつなぐ力であり、そういった人々と協力し合い、チームとして働いていける力であるといえます。最初に素質ありきではなく、大学4年間の中で、色々な経験や出会いを通してそういった力を育んでほしいと思います。ぜひ、共に学び合いましょう」。

創業昭和24年。
ガスを通じて地域社会の発展と
豊かな暮らしに奉仕します。



株式会社 **相場商店**

【本社】〒010-8520 秋田市榑山登町1番20号
TEL.018-833-8767 FAX.018-835-2231
www.aibashouten.co.jp

教員紹介

医学部長・医学系研究科長

伊藤 宏
ITO Hiroshi

医学部は、地域医療において指導的役割を果たす医師を養成する「医学科」と地域医療を支える看護・保健師・助産師・理学療法士・作業療法士を養成する「保健学科」の二つの学科があります。

1年次から卒業まで
継ぎ目のない教育

「秋田大学は秋田県唯一の『医学』機関です。第一のミッションとして、地域に貢献できる医療従事者を育成することが望まれています。医学部においては、『教育・臨床・研究』が重要であり、中でも『教育』に一番力を注いでいます。全国に先駆けて1年次から現場で経験を積む早期臨床実習を導入しています。これは『秋田方式』と呼ばれ、全国的に注目されています。また、在学中だけではなく卒業後も一貫した研修体制が構築され『継ぎ目のない教育』をいち早く取り入

れています。また、最先端の設備を備えた恵まれた環境で学べるということも大きな魅力です。例えば、東北随一の医学部附属病院『シミュレーション教育センター』を活用し、シミュレーターを使った高度な研修が可能です。秋田大学医学部で学ぶことは国内の最先端教育を受けることといえるでしょう。また、秋田県には県立の総合病院が無いことなどから、秋田大学医学部附属病院は、『臨床』においても非常に重要な役割をはたしています。そして、『研究』でもいくつかの重点的な分野において、国内トップレベルの研究者が名を連ねています。ここ秋田の地から世界に伍していくことが可能なのです。

地域医療に貢献するために

「地域に貢献する大学として、医学部が最も力を入れたのは医療従事者の教育です。平成16年に導入された『臨床研修制度』

により、卒業生自身の希望で研修先を選べるようになつてから、秋田県内に残る卒業生の数は激減しました。しかし、平成28年度は新人医師の初期臨床研修を県内の病院で行うことが内定した医学科卒業生は過去最多の61人になりました。

循環器内科

「私の専門は『循環器内科』です。心臓の筋肉自体が変化してしまう、いわゆる『心筋症』と、高齢化に伴い増加する傾向にある『心不全』について研究しています。主に心臓肥大がなぜ起こるのか、遺伝子工学的手法を使って研究を続けています。『循環器内科』は、ハードな部分もある半面、難しい状態にあった患者さんであつても適切な処置を施すことによって、一ヶ月後にはすっかり元気になる様子を確認できるということが魅力です。学問的にも非常に面白い分野です」。

ジャズギターとテニス、そしてゴルフ

もともとジャズが好きで、関連のCDコレクションは数百枚にのぼるという伊藤学部長。中でも、ジャズギターの神様と呼ばれたウェス・モンゴメリーを敬愛し、その独自のギター奏法を独学で学ばれました。学生時代から憧れたというギブソンのギターを演奏されている写真は、CDのジャケット写真真似ながら。現在は医学部ジャズ研究会の顧問をされ、学生や医師会の先生方とセッションすることもあつて、先生方とセッションすることもあるそうです。また、学生時代は強豪と言われた東京医科歯科大学硬式テニス部に所属し、テニスで汗を流されていたそうです。秋田に来てからは家からゴルフ場も近いことから、テニスからゴルフに転向。時間のある限りゴルフの練習に向かわれるそうです。「医師はとにかく体力が必要とされます」とのお言葉どおり、ハードなお仕事をパワフルにこなされている秘訣はこういったところにあるのではないのでしょうか。

受験生・在学生へのメッセージ

「『臨床』『研究』『教育』のしっかりした基盤を持ち、最先端の教育を受けることができる秋田大学医学部では優れた医療従事者になることができます。皆さんが秋田の医療に貢献できる人材となることを期待しています」。

地域に貢献できる優れた
医療従事者を育成する

週刊 さきがけスポーツ

毎週木曜日、
秋田魁新報とともにお届けします。



購読申し込み専用フリーダイヤル
0120-13-1231

さきがけ

MOBILE



あなたの笑顔が私の元気

- 特別養護老人ホーム
「萬生苑」「楽しいわが家」「ふるさと矢島」
「ふるさと学び舎」「花ごよみ」
- ケアハウス 「楽しいわが家」
- 特定ケアハウス
「ふるさと学び舎」「スマートライフ中通」

各施設には、ショートステイが併設されております

- 単独型ショートステイ 「いきいきASOKO」
- デイサービスセンター
「My!!ともだち」「ふるさと学び舎」「楽しいわが家」「てまり」
- グループホーム
「安心サポート本荘」「安心サポート矢島」「安心サポート仁賀保」
- 中央保育園 ■白百合こども園

社会福祉法人 中央会

TEL 0184-24-3711 E-mail chuoukai@chokai.ne.jp
FAX 0184-22-3780 URL http://www.chuoukai.com

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に

一般財団法人 丁酉会

保険調剤

てい ゆう かい

丁酉会薬局

秋田大学病院前

教員紹介

理工学部長・工学資源学研究科長

村岡 幹夫
MURAOKA Mikio



平成26年に工学資源学部から生まれ変わった理工学部。「理」に裏打ちされた専門能力と高い倫理性を持ち、学際分野にも目を向けられる、総合力で日本や地域に貢献できる人材の育成に力を注ぎます。

新たに生まれ変わった理工学部

「理工学部は、鉱山学部、工学資源学部で培った工学分野をさらに充実させ、『理学』分野を強化して平成26年4月にスタートしました。100年を超えたる伝統と窓口に支えられた学部であり、高い就職率と、特に大学院に就いた学生や学生の学会発表費などの経済的支援が得られることが第一の特色です。『生命科学科』『物質科学科』『数理・電気電子情報科学科』『システムデザイン工学科』の4つの学科と9つのコースからなり、幅広い教育プログラムを提供しています。

ます。本学部での特徴的な研究としては、『理工学連携・高齢者対応の技術』『新しい素材』『環境浄化技術』『ロボットなどの宇宙輸送機構造物』『津波災害被害に関する地域防災』などが挙げられます。2年次から学科コースを変更できる転学科・転コース制度や、また、2年次から研究室に配属となり専門性を高め3年次で早期卒業・進学できるアドバンスコースなどの教育制度もあります。さらに、産業界からの要請により大学院博士前期課程の2年間を含めた6年貫教育を推奨しています。平成27年度からは大学院において『医学系研究科』と協力して医学医療の言葉とニーズを理解できる技術者の養成を目指した『理工学連携コース』を開設しています。

地方創生に貢献する学部として

「産学官金の連携を強化し、雇用創出に向け地

秋田から世界へー 高度な技術者・ 研究者の育成に力を注ぐ



域産業振興を全力で支援したいと考えています。秋田銀行地域サポート部アドバイザー向けに、理工学部の教員の研究紹介サロンを月に2回開催しています。これをきっかけに地域企業と大学とが共同研究をすることになった事例が現時

点で10件以上もあります。こうした形で今後も企業との新しい取り組みを支援していきたいと考えています。また、秋田県の産業界で求められる人材育成として、輸送機・再生エネルギー分野・理工学連携のリージョナルコースについて検討しています。成長著しい航空機産業分野では、英語コミュニケーション能力を持った技術者の育成が求められています。今後、外国人教員の増員を図るとともに、留学支援を行って対応していきたいと考えています。大学にとつて不可分である研究については、国際ジャーナルへの掲載を推奨する、競争的資金をより多く獲得することを旨とするなど、研究力をさらに強化する雰囲気作りを進めています。いずれは本学理工学部を『地方の名門学部』にしたいという思いがあります。

金属ナノコイルの開発

30代の頃は秋田混声合唱団に所属していたという村岡学部長。当時のパートはテノール、バリトンだったそう。現在、合唱はされていないようですが、当時のご縁から秋田大学混声合唱団「エースクワイア」の顧問をされています。多忙を極め、趣味にあてける時間はほとんどないが現状だそうです。本来であれば休日である毎週土曜日にも研究室の学生を集め、個々の研究の進捗状況を把握し、指導しているとのこと。

「今は、時間が空いたら研究にあてたいというのが本音です」と村岡学部長。ご自身の研究内容は「機械工学分野の材料力学とナノテクノロジー」。植物のゴヤーやヒヨウタンなどのコイル形成に似た原理を持つ、ごく微小の金属ナノコイルを製造する独自技術を開発されました。現在は、三菱重工との共同研究によって複合材料加工技術への応用と製造業の次なる革命を目指し、日々邁進されています。

受験生・在学生へのメッセージ

「学部や研究室の学生も、顧問を務める混声合唱団エースクワイアの団員も、とても楽しそうに、そして真剣に大学生活を送っています。若い皆さんが毎日を楽しむ姿が、私が地方創生の真の原動力になると思います。目を見開いて、自分のエネルギーを見つけてください。私たちと一緒に、秋田大学理工学部で地方から世界に打って出ませんか」

ともに世界へ——。



Harbor business / Warehousing business
International complex transportation service

秋田海陸運送
www.kairiku.co.jp

創業1964年
FCGECO ファーネス化工機株式会社
FURNACE KAKOKI CO., LTD.

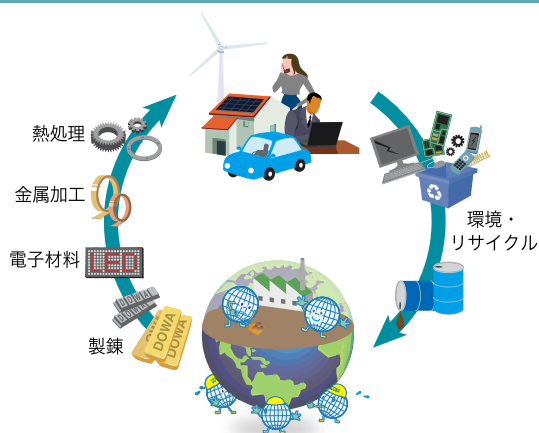


AL-FeC デュアルファーネス (アルフェックデュアルファーネス)
・アルミT-6処理、炭素鋼無酸化ハイスピード熱処理に最適

ファーネス化工機株式会社

□本社 〒220-0003 神奈川県横浜市西区楠町4-3
電話 (045)313-3061 FAX (045)314-3261
E-mail: fcceo@cococa.ocn.ne.jp
□綾瀬工場 〒252-1125 神奈川県綾瀬市吉岡東1-16-13
電話 (0467)78-8761 FAX (0467)78-8763
E-mail: fcceo@cococa.ocn.ne.jp

DOWA が広げる
環境・リサイクルの「環」



DOWAホールディングス株式会社
http://www.dowa.co.jp

先輩なう。〈特別編〉

秋田大学卒業生の今(=なう)をご紹介します「先輩なう」。今回は特別編として小川信明理事(総務担当)・総括副学長がインタビューとなり、ファーンエス化工機株式会社代表取締役社長の関川秀三郎さんにお話を伺いました。



関川 秀三郎さん

ファーンエス化工機株式会社
代表取締役社長

◆鉱山学部燃料化学科／昭和34年3月卒業

〈小川〉 お仕事の内容を教えてください。

〈関川〉 昭和39年27歳の時、東京の御茶ノ水駅近くで今の会社を設立しました。資本金50万円。一貫して取り組んできた専門技術だけが唯一の武器でしたが、割合仕事に恵まれ、名は重役、実態は何でもやる十役として東奔西走の毎日でした。

当社は、設立以来、一貫して鉄、非鉄金属、窯業、化学、機械、電機、食品等の分野で使用する素材から、仕上げ製品までの様々な加熱装置、熱処理設備、省力機器及びそれらに関わる環境改善設備のエンジニアリング、製作、販売を手掛けています。

ファーンエス化工機という社名の由来ですが、ファーンエスは英語で窯炉を意味し、化工機の方は当社のもう一つの主力製品として、触媒を使ったガス分解装置、熱交換器、ガス吸収装置、ガス冷凍除湿機等を有しているため付け加えることにしました。

商標は“FCECO”と登録しております。英語読みの“FURNACE CHEMICALS ENGINEERING Co, LTD.”それぞれの頭文字を並べました。もう一つ、専門技術者はファーンエスのことを略して単にF'ceと書くこともあります。ユーザーは当社のトレードマークを見て、何の仕事をしているのか分かりやすくグッドネーミングだと誉めてくれます。

そして、無理、無茶、無駄をせず、自己資本で間に合う経営が創業以来の当社の方針です。

〈小川〉 27歳で起業したきっかけを教えてください。

〈関川〉 私は元々、大学に在籍している時から、何でも先に立ってやるようなタイプで、大学3年の時にキャプテンとして先頭になって自動車

部を立ち上げました。学長が乗られていた公用車を払い下げていただいて、分解修理し、一から組み立てていました。

〈小川〉 当時からのものづくりが大好きだったということですね。

〈関川〉 そうですね。ものづくりが私の性格に合っていたことや、人に使われるのが嫌だったこともあり、「自分で会社を起こしてしまえ」ということで27歳の時に起業しました。

〈小川〉 「自分で何でも作ってみたい、やってみたい」というご自身の性格もあって、会社を起業されたのですね。

〈関川〉 そうです。

〈小川〉 御社は技術力を売っている会社だと思うのですが、仕事をする上で、心掛けていることはありますか。

〈関川〉 卒業論文の実験真っ直中、忙中閑、友達と映画を観る約束をしていたのですが、実験が思うように進まない、約束の時間が刻々と迫る。ついに適当にデータを作って実験室を抜け出してしまいました。翌日主任教授に呼び出され担当教官の学位論文に関する重要な資料となることも忘れ、いい加減に扱っていると大変叱られたことがありました。その時、「医者と弁護士には嘘を言うな」という言葉がある。科学技術を志す者に嘘はあってはならない」と厳しく諭されました。ものづくりの世界に身を置く立場になってからこの言葉の重みを実感しております。



〈小川〉 正確なデータを取るということは技術系・理系では当然やらなければならないことですが、当時の主任教授の言葉を肝に銘じ、現在も心掛けているということですね。

〈関川〉 絶対にごまかす仕事はしない。品質、製品も約束したら性能はきっちり守ります。

〈小川〉 それをデータで示すわけですね。

〈関川〉 それが信頼の基になっています。

〈小川〉 それはよく分かります。それでは、現在どのようなことで秋田大学での学びが生きていると思われますか。

〈関川〉 昭和30年に秋田大学鉱山学部に進学し、初めて親元を離れ北光寮(学生寮)に入り、全国から集まった仲間たちと過ごした4年間は言語で尽くせない程の自由と開放感があり充実した毎日でした。

当時、北光寮は校内にあり、さらに私が所属していた学科には14,5人しかいませんでしたので講義等をさぼるとすぐ同じ学科の学生が迎えに来ましたね。さぼりたいけど、さぼれない。学生に対する管理が行き届いていると言いま



すか、それだけ教員と学生、学生同士の関係も密だったわけですね。そのことについては今でも感謝しています。

私は鉱山学部の冶金燃料学科へ入学したのですが、在学の途中で冶金燃料学科が「冶金学科」と「燃料学科」に改組され、私は燃料学科に進みました。そこでは化学に関することを学びましたし、改組される前は金属に関することも学べましたので、両方の分野を学んだことが社会に出てから非常に生きました。大学を卒業してから東京のプラント会社を2つ渡り歩いたのですが、そこで大学での学びを発揮することができ、自分の中で自信ができました。これなら自分で会社を起業してもやっていけるなと思いましたね。

〈小川〉 最後に、大学の後輩たちへメッセージをお願いします。

〈関川〉 最近の学生は利口になってしまい、役所に勤めたい、安定した会社に勤めたいとか、そういうことばかり仰っていますが、それでは少し物足りませんね。孫正義氏やビル・ゲイツ氏までとは言いませんが、起業家魂を持ってほしいですね。そして、会社などに勤めることも良いですが、何人かに一人は私のように変わり者が出てほしいですね。

〈小川〉 たしかに今の大学は変わり者がにくいシステムとなっています。それを肝に銘じて、大学人もそれを心掛けていきたいと思います。その点は私もよく感じています。

〈関川〉 そうですね。講義が2時間あるとすれば、アメリカの哲学者でハーバート大学のマイケル・サンデル教授みたいに、少し一服して、授業とは関係のない話をしても良いのではないのでしょうか。例えば、ビル・ゲイツ氏や本田宗一郎氏などのような偉大な実業家の話とか、仕事で大阪の方々がよく言われる「もうかりまっか」「ぼちぼちでん」という初歩的な経済を皆で考えられる環境があると良いですね。

あとは、秋田大学からノーベル賞受賞者が出てくれることを期待しています。地方の名門と言われる大学に是非していただきたいと思います。

----- 握手(終了) -----



学生取材班

AUP秋田大学報道局

秋田大学や秋田に関わる情報を学内外に発信する、大学公認の学生新聞サークル。新聞「The Akita University Post」を年3回発行しているほか、10月に行われる秋田大学祭ミスコンテストの企画・運営も行う。現在11名で活動中。



秋田大学手形キャンパスの南門（AUP部員が2009年撮影）

秋田大学手形キャンパスには稀にカモシカが現れ、その姿を見た学生は留年する……という噂があるようです。幸い私はカモシカを見たことはないのですが、その代わりに学内で毎日見かける動物がいます。ネコ、それも野良ネコです。春先から秋にかけて構内の南門周辺に数多く現れ、門の横や道路で寝転がっています。秋田駅へ向かう通り道になっている南門は、人通りの多い場所。しばしば学生がネコを撫でたり、写真を撮ったりする姿が見られます。今回はこの学生にとって身近な存在である野良ネコについて、学生や近隣にお住まいの方々にお話を聞いてみました。



構内の南門で気持ちよさそうに寝転がるネコたち（2009年撮影）

いつから猫が増えた？ 実は減っている??

手形キャンパス周辺で野良ネコが増え始めた具体的な時期は定かではありません。ご近所の方々に聞いてみましたが、ここ数年という人もいれば、もっと前からという人もいます。

キャンパスによく散歩に来るというご婦人は、学内のネコの数は減っていると話します。5年以上前は現在より樹木が多く植えられていて、あちこちに草むらがありました。そこがネコたちの格好の遊び場だったようなのです。ご婦人は「緑地が減らされて駐車場になってから、見かけなくなったね」と話してくれました。

同じく減ったと感じているのは、ネコ好きを自称するとある教員。この教員は、以前の大学が「ネコ捨て場」になっていた時代を知っていました。夜に車が入ってきて段ボールを捨てていったので近寄ると、中にネコがいたことがあったそうです。「まだ車の出入りが厳しく規制されていなかったからね。大学に置けば誰かが拾ってくれると思って置いたんじゃないかな。大学側も対策に苦慮していたよ」と当時を振り返っていました。

手形キャンパスのネコ



（2015年撮影）

人馴れネコ

キャンパスの近隣に住む方々は、手形の野良ネコについて「人馴れしている」と口を揃えて言います。人間を怖がらないのです。学生が歩いてきても、びくともしません。ずっと同じ場所で気持ちよさそうにしています。写真を撮ったり、撫でたりしても全く怖がる気配を見せません。このフレンドリーな一面が、学生に好かれる理由の1つなのかもしれません。

ただ、人馴れしすぎているのも問題のようで、車が近づいても避けてはくれません。更に、家の敷地に勝手に入ってきてフンをしたり、ゴミを漁って散らかしたりと好き放題にやってしまうようです。ここでは軽く書いていますが、近隣の方々にお話を伺っていると相当お困りの様子で「学生を癒す存在」として軽い気持ちで取材を始めた私は少し萎縮してしまいました。



（2015年撮影）

犬との交流

同じく学内へ遊びにくる動物に、お散歩中の犬がいます。キャンパスに1日2回犬の散歩に訪れるという男性は、愛犬とネコとの仲睦まじい様子を話してくれました。ネコが寝転がっているところに、この犬が寄っていった甘噛みをする、ネコがパンチをするんだとか。こんなじゃれ合いがある一方で、やはり犬によって相性の問題があるようです。取材中に通りかかった別の愛犬家の男性は「うちの犬は全くダメ。合わないんだろうね」と笑っていました。

やっぱり人間が悪い？

手形で野良ネコが増えた背景には、人間の影響が大きいようです。前述の「ネコ捨て場」のエピソードもそうですが、お話を聞くと、野良ネコに餌付けする人の目撃談も多くありました。学生にとっては行き帰りに見て癒される存在ですが、そこで生活している人にとっては複雑な思いを抱く存在でもあるのでしょうか。当の野良ネコたちは、そんな事を気にせずに寝転がっているようなのですが……。

皆さん、「ARCグループ」という団体をご存知でしょうか。ARC(アーク)グループは2013年に6名の秋田大学生が立ち上げた団体で、現在は秋田大学生を中心に県内5大学の学生総勢150名が学生主導で地域活性化の活動を行っています。この団体の名前はAkita(秋田)の「A」Region(地域)の「R」、Contribution(貢献)の「C」の3つの頭文字から名付けられ、地域と学生、地域と地域を繋ぐ架け橋になりたいとの願いが込められています。団体の活動は主に三つあり、一つ目は地域にある文化の保存活動。二つ目は地域にある資源の掘り起こしと発信。三つ目は地域の方々と交流です。今までに延べ1200人もの学生が県内7カ所を拠点に地域の方々と交流を重ね、自分たちができることを模索し、地域で実行してきました。具体的な活動としては、北秋田市にある「森のテラス」での機械・農産物を使わない米作り、能代市檜山地区での聞き書きと街歩き、そして地域の伝統芸能である「羽立ささら」への泊まり込み練習からの参加、藤里町大沢地区での聞き

地域に根ざし、地域と共に ～秋田の再生を願う～



「森のテラス」での田植えの様子

書きと町歩き、男鹿市安全寺地区での米作り、秋田市上新城地区での廃校利用の清掃ボランティア、農業体験などがあります。秋田大学の地域創生課や現地の自治体の方々、地域住民の皆さんの協力を得て、活動を進めてきました。

少子高齢化が急激に進むこの秋田県で、「学生として地域のために何かできないか」という問題が私たちの最大のテーマです。秋田県には、人目に触れないものでも確かな歴史や伝統と、地域が育んできた素晴らしい文化が山のよう

在学生紹介 学生団体 ARC(アーク) 代表

教育文化学部 学校教育課程3年次

吉本 裕希



ARCとして「第4回与次郎駅伝2015」に参加した吉本裕希さん(左)

秋田大学インフォメーションセンター リーフレット発行



OBIによる講演会



学生による企画展

秋田大学インフォメーションセンターは、秋田大学の情報を発信する場、地域住民との交流の場として、平成22年4月に開設しました。センターでは秋田大学の教育・研究の取り組みや、成田為三、南木佳士など著名な卒業生の業績や作品等を展示・紹介しています。また、学生や教職員による企画展、コンサート等も開催しています。

【お問い合わせ先】

秋田大学インフォメーションセンター
●開館時間／ 10:30～17:00
●開館日／平日のみ ●入館／無料
●TEL.018-889-2931

紹介リーフレットは秋田大学インフォメーションセンターや鉱業博物館のほか、お近くの図書館・博物館等にも設置しています。



イルミネーション点灯

秋田大学は平成27年12月7日～平成28年2月26日の期間、手形キャンパスでイルミネーションを点灯しています。

街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変え、学生だけではなく地域住民の方々にも秋田大学に親しんでいただけるようにとの願いを込め、平成20年度からイルミネーションの点灯を実施。平成23年度は東日本大震災の影響による節電のため中止しましたが、今年度で7回目の点灯となりました。

今年度は、青と白のLED電球を約15,000個使用、ツリーの高さは約5m。この冬も、手形キャンパスは幻想的な雰囲気に包まれました。

また、平成27年12月14日～平成28年1月15日の期間、本道キャンパスにある医学部附属病院でも、来院される患者さんや入院患者さんをはじめ、ご家族や地域住民の方々にも親しんでいただけるようイルミネーションを点灯しました。



秋田大学みらい創造基金 ご協力をお願い申し上げます。

秋田大学は、多くの皆様からご協力いただいた「秋田大学教育研究支援基金」を引き継ぎ、平成26年11月に「秋田大学みらい創造基金」を創設いたしました。

この基金は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、使途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という大学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

一般基金

- 教育の質の向上及び研究の推進支援
- 卒業生・産業界等との連携支援
- 学生への奨学金等支援
- 学部等への支援
- 教職員・学生等の国際化・文化・社会活動等支援
- 施設・環境整備の充実

特定基金

- 病院寄附金
- 国際資源学部寄附金
- 教育文化学部寄附金
- 医学部寄附金
- 理工学部寄附金

＜ご寄附のお願い＞●個人：一口1,000円 ●法人：一口10,000円
＜ご寄附の方法＞●振込 ●クレジットカード ●古本募金 ●遺贈
寄附のお申し込み、詳細につきましては、秋田大学公式ホームページをご覧ください。基金事務局までお問い合わせください。

＜お申し込み・お問い合わせ先＞秋田大学みらい創造基金事務局
〒010-8502秋田市手形学園町1-1 ☎018-889-3266(総務企画課内)
E-mail: kikin@jimu.akita-u.ac.jp
URL: http://www.akita-u.ac.jp/nonbu/ed_fund/index.html

秋田大学 みらい

検索



Daiwa Lease
大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、
グループシンボル「エンドレスハート」に
お客様と私たちの永遠の絆と

私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和リース株式会社 秋田支店
秋田市御所野元町 1-1-1 〒010-1414
Tel: 018-892-7152 Fax: 018-892-7153
www.daiwalease.co.jp

秋田大学生協は 大学生を応援します

秋田大学生の学生生活を日常的に
サポートするのが大学生協です！

各店舗の
営業時間も
ここから
チェック！



秋田大学生協



【秋田大学生協店舗】

手形食堂・本道食堂
コープ・パンココ・メディココ
キャリアステーション
生協本部・サポートセンター

秋田大学生協本部

TEL:018-832-7141

Column
文章力up



大学にはたくさん先生の「先生」がいます。教員が同僚を呼ぶ時も先生。学生は先生と呼び、外からお客さんも先生を連発しています。呼称ではあるのですが、尊敬の念も込める（こともある）先生という言葉。「さん」と置き換えても可能な場合が多いような気すらしますが、大学では先生と呼んではいけないのはOKなのでしょうか。「便利」ですね。ふと見回すと、世の中には先生と呼ばれている職業の方が実にたくさんいます。

大学では教員のことを（時に）研究者とも呼びます。余談ですが「研究」という言葉には新聞記者時代の「取材」という言葉と同じような意味合いがあると感じています。研究、取材と言えは、とりあえずは言い訳がたつ（OK）といった趣。これまた「便利」ですね。ただ、研究者も記者も、成果は質量共に問われます。これは本来、プロの世界ですから、厳しいものです。

「呼称」の使い方を少し考えてみましょう。例えばエントリシート。志望の動機の場合です。【私は御社の企業理念に共感し……】
【貴社でインターンシップをして……】
御社や貴社。あまりにも他人行儀ですね。企業名は○○銀行や○○商事などと書けば素直です。普段から親しんでいることが伝わります。秋田大学に届く依頼文などにもよく「貴大学」などという表現が使われています。ちよつと照れてしまいま

すし、あまりにも形式的な雰囲気も伝わってきます。秋田大学と書けば十分です。相手の「呼称」をどう表現するかによって、双方の距離感が微妙に変わってきます。
また、企業理念や社風といった言葉をむやみに盛り込むと「鬼門」になることがあります。「（創）作文」の臭いがプンプンと伝わってきてしまうからです。
新聞社時代の採用面接の場面でも、思い出したことがあります。やり取りの中で男子受験生が両親を「パパ」「ママ」という言葉で表現していました。きつと、仲の良い家庭に育ったのでしょうか。でも、なぜか「父（親）は」「母（親）は」と言ってしまう感じがしました。なんとなく違和感。面接に臨んだ同僚も同じでした。「パパとママにもよろしく」と誰かが言って、面接は終わりました。

アーバンマイン
都市鉱山から生まれる新たな資源を開発し地域再生を支援する

「あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース」第4期生募集

秋田県における環境・リサイクル産業を推進し、環境教育などに貢献できる人材の養成を目的とした学校教育法に基づく秋田大学の履修証明プログラムです。

環境・リサイクルに関する講義から、県内及び国内外の社会・経済情勢まで、その分野の専門家による講義（毎月2回、土曜日）を受けることができます。また、秋田県内における環境・リサイクル産業に関わる現況や課題を理解するため、県内のリサイクル関連企業や施設を見学するフィールド研修（6、9、10月の3回、平日を予定）を実施し、担当教員の指導のもとに課題研究を行います。

本コースの修了者に対しては、教育プログラムの修了を認める「履修証明書」を交付し、併せて秋田大学長と秋田県知事の連名による「アーバンマイン開発マイスター」の称号を授与します。



平成27年度フィールド研修の様子

【募集期間】平成28年1月12日（火）～2月10日（水）
【募集人員】10名程度
【受講料】1年間 30,000円
（秋田大学の学生は無料）
【書類選考】平成28年2月中旬
【合格発表】平成28年3月7日（月）

【お問い合わせ・資料請求先】
あきたアーバンマイン開発マイスター
養成コース事務局
TEL.018-889-2451
FAX.018-889-2517



秋田大学みらい創造基金 寄附者ご芳名（平成27年7月～11月入金分 五十音順）

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【個人】

- 相原 統一 様
- 浅沼 研 様
- 浅沼 義博 様
- 麻生 厚司 様
- 阿部 節夫 様
- 阿部 史人 様
- 飯塚 博幸 様
- 五十嵐 圭子 様
- 五十嵐 隆治 様
- 池田 翔 様
- 池田 千晴 様
- 石井 聡 様
- 石井 聡 様
- 石尾 俊二 様
- 石川 慶紀 様
- 石沢 千佳子 様
- 伊藤 慎一 様
- 伊藤 宏 様
- 伊藤 昌之 様
- 井上 高光 様
- 今野 和彦 様
- 上田 晴彦 様
- 上村 英彦 様
- 榎本 克彦 様
- 太田 貞祐 様
- 大塚 悦子 様
- 大戸 中西 貴代 様
- 大西 洋一 様
- 大橋 隆 様
- 大村 浩志 様
- 大森 泰文 様
- 大八木 秀明 様
- 大山 妙子 様
- 荻原 正夫 様
- 尾野 祐一 様
- 小野田 勝 様
- 小野寺 重人 様
- 面川 歩 様
- 加賀 一 様
- 郭 永梅 様
- 景山 陽一 様
- 粕川 雄司 様
- 片桐 勝也 様
- 加藤 寛 様
- 加藤 龍雲 様
- 角谷 浩 様
- 鎌田 幸子 様
- 亀岡 吉弘 様
- 川原谷 浩 様
- 北館 宏明 様
- 木村 誠 様
- 京 直恵 様
- 工藤 晃義 様
- 工藤 俊輔 様
- 工藤 大輔 様
- 工藤 工 様
- 工藤 優 様
- 工藤 由紀子 様
- 久場 敬司 様
- 栗原 紀久 様
- 黒崎 勝 様
- 小泉 幸央 様
- 黄 明国 様
- 小林 五十鈴 様
- 小林 敬宏 様
- 小林 則子 様
- 小林 政雄 様
- 小松 久美 様
- 小松 順子 様
- 小松 文雄 様
- 今野 笑子 様
- 齋藤 満 様
- 坂井 朝子 様
- 笹川 忠喜 様
- 佐々木 郁子 様
- 佐々木 恵子 様
- 佐々木 重喜 様
- 佐々木 貴広 様
- 佐々木 務 様
- 佐々木 雅子 様
- 佐藤 修司 様
- 佐藤 巧 様
- 佐藤 哲也 様
- 佐藤 時幸 様
- 佐藤 幸美 様
- 塩野 徹 様
- 志田 青慈 様
- 志立 正知 様
- 柴田 浩行 様
- 柴田 進一 様
- 渋谷 嗣 様
- 島田 洋一 様
- 清水 徹男 様
- 昌子 智由 様
- 白川 秀子 様
- 鈴木 功 様
- 鈴木 節子 様
- 鈴木 真純 様
- 関 秀廣 様
- 妹尾 春樹 様
- 高津 洋 様
- 高橋 秋典 様
- 高橋 毅 様
- 高橋 直人 様
- 高橋 文夫 様
- 高橋 裕介 様
- 田川 博之 様
- 田口 正美 様
- 武田 篤 様
- 田仲 誠祐 様
- 千田 聡明 様
- 千田 稔 様
- 手島 和暁 様
- 照井 昌明 様
- 富樫 賢 様
- 野老山 貴行 様
- 戸島 隆造 様
- 豊嶋 彩子 様
- 豊野 学朋 様
- 中永 士師明 様
- 中村 雅英 様
- 中村 安 様
- 奈良 瑞穂 様
- 奈良 美保 様
- 成田 伸太郎 様
- 成田 正英 様
- 成田 裕一 様
- 西成 文典 様
- 西川 俊昭 様
- 西成 民夫 様
- 島山 和利 様
- 芳賀 一寿 様
- 長谷川 崇 様
- 千田 和利 様
- 波多野 善明 様
- 羽淵 友則 様
- 林 信太郎 様
- 原田 幸市郎 様
- 針金 誠悦 様
- 平元 泉 様
- 廣川 誠 様
- 深井 保夫 様
- 福島 慎一 様
- 福山 嗣子 様
- 藤島 直仁 様
- 藤島 眞澄 様
- 藤田 仁 様
- 藤原 敬一 様
- 藤原 孝 様
- 保坂 雅夫 様
- いまい子 様
- 増田 浩明 様
- 又井 徳生 様
- 三浦 敏秋 様
- 三木 一伸 様
- 道下 吉広 様
- 美作 宗太郎 様
- 本山 悟 様
- 森田 潔 様
- 森谷 めぐみ 様
- 安田 大恭 様
- 柳橋 雪男 様
- 柳谷 勉 様
- 山岡 正典 様
- 山口 富雄 様
- 山口 智和 様
- 山口 誠 様
- 山田 晋 様
- 山本 浩史 様
- 山本 善郎 様
- 定川 信一 様
- 米山 奈奈子 様
- 若狭 正彦 様
- 浦井 秀樹 様
- 渡部 敦 様
- 渡部 育子 様
- 渡辺 一也 様
- 渡邊 基起 様

【企業・団体等】

- 秋田朝日放送株式会社
- 株式会社秋田魁新報社
- 株式会社秋田新電元
- 秋田大学有志一同
- 秋田テレビ株式会社
- 株式会社秋田放送
- 株式会社アルファシステムズ
- 株式会社イクシス
- 協和石油株式会社
- 協和発酵キリン株式会社
- 三和テック株式会社
- ソレキア株式会社
- 大和リース株式会社
- 株式会社竹中土木 東北支店
- 合資会社たけや
- 株式会社東北フジクラ
- DOWAホールディングス株式会社
- 株式会社ノーザンシステムサービス
- ファーストエスエム株式会社
- 北光会 大学支部
- 株式会社ユアテック 秋田支社

他 匿名希望 109名、5団体 様（延べ数）

イベント&講座・講習会

Event, Seminar, Workshops & Extension course

催し物

地(知)の拠点大学による
地方創生推進事業2015 in 秋田

- 2月6日(土)13:00～15:50
- 秋田市文化会館 小ホール(秋田市山王七丁目3-1)
- 対象／一般県民
- 参加無料
- ☎018-889-3246
(地域創生センターCOCプラス事務局)

平成27年度 秋大憩いのコンサート

- 【第65回】●2月14日(日)14:00～
“教員と学生による
バレンタイン・コンサート”
- 【第66回】●3月19日(土)14:00～
“ロマン派の歌曲とピアノ曲”
- 手形キャンパス インフォメーションセンター
- 入場無料
- ☎018-889-2647(教育文化学部 斎藤准教授)

秋田大学
国際資源学教育研究センター
第10回国際シンポジウム
「資源学の最新の取り組み」

- 【東京会場】
- 2月16日(火)13:00～17:00
- 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター
国際会議室(東京都港区芝浦3-3-6)
- 【秋田会場】
- 2月18日(木)13:00～17:00
- 秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
2階会議室
- 対象／どなたでも
- 参加無料
- ☎018-889-2810(国際資源学教育研究センター)

第11回
スノーキャンドルストリート in あに

- 地域資源である「雪」と各家庭にある「ろうそく」を使い、地域みんなが協力して行う地域参加型のイベント。
秋田大学北秋田分校が協力しています。
- 2月20日(土)18:00～20:00
- 秋田内陸線阿仁合駅周辺
- 対象／どなたでも
- 参加無料
- ☎0186-82-3658(阿仁郷土文化保存伝承館)

平成28年 秋田大学ジョブ・フェア
(企業合同説明会)

- 就職支援の一環として、学生と企業のマッチングの機会として、毎年開催しています。
- 3月9日(水)9:10～16:50
- 秋田ビューホテル(秋田市中通2-6-1)
- 対象／学部3年次、
修士1年次(平成29年3月卒業・修了予定者)
- 参加無料
- ☎018-889-2262(就職推進課)

北東北3大学主催新技術説明会

- 大学の研究成果を技術移転することを目的に企業関係者を対象とした技術説明会を北東北3大学共同で開催します。
- 3月11日(金)
- JST東京本部別館1Fホール
(東京都千代田区五番町7 K's五番町)
- 対象／企業関係者等
- 参加無料
- ☎018-889-3011(学術研究課)

平成27年度 秋田大学卒業式

- 3月22日(火)10:30～
- 秋田県民会館(秋田市千秋明徳町2-52)
- ☎018-889-2207(総務企画課)

平成28年度 秋田大学入学式

- 4月6日(水)10:30～
- 秋田県民会館(秋田市千秋明徳町2-52)
- ☎018-889-2207(総務企画課)

平成28年度
秋田大学入学者
選抜日程

一般入試(前期日程)

- 試験実施日
平成28年2月25日(木)・26日(金)
- 合格発表
平成28年3月 7 日(月)

一般入試(後期日程)

- 試験実施日
平成28年3月12日(土)
- 合格発表
平成28年3月21日(月)

※募集人員、選抜方法等については、一般入試学生募集要項を必ずご確認ください。



手創りの夢をお客様一人ひとりの未来へお届けするのが
日産サティオ秋田の夢です。

日産サティオ秋田は明るく健康で活気のある、
21世紀を創っていける
若い皆さんの力を期待しております。

毎週火曜日 午後9時54分～
AKT秋田テレビ天気情報にて
当社イメージCM放送中

きらめく未来へ
夢をのせて...

日産サティオ秋田

定休日／毎月第一月曜日・毎週火曜日
営業時間／AM10:00～PM7:00

www.satio-akita.co.jp